※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１７

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	アートワーク	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「絵画・彫刻」「デザイン」「映像メディア表現」の各分野について、自らの感性に問いかけながら形にしていくという作業を発展させた内容で、様々な素材や技法を通じて表現の広がりを学んでいきます。
・「鑑賞」についてもただ作品を見るのではなく、能動的に関わりながら作品を感じ、また感じたものを第三者に伝えるということを、表現のトレーニングとしてゲーム的な要素を交えながら学んでいきます。

２　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関 わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。
2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術 文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
3) 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	表現トレーニング　はめ絵	【絵画】【鑑賞】 ・ハサミで紙を任意の形に切り、その紙を隣のひとに渡す。渡された形をうまく生かしてその中に絵を描いていく。複数描き関連性をつくりだす。 ・描いたものを並べ良いと思うものに投票する。	a:様々なカタチから具体的なモチーフを見つけている。 b:自分なりのテーマを生成し描いている。 c:与えられた形から積極的に表現しようとしている。複数描いている。 c：他者の作品から参考になるものを見つけている。	ﾜｰｸｼｰﾄ 制作の様子 制作途中の作品 提出作品	ﾜｰｸｼｰﾄ 制作の様子 制作途中の作品 提出作品	ﾜｰｸｼｰﾄ 制作の様子 制作途中の作品 提出作品
	不思議な連続模様	【デザイン】 ・四角い付箋の辺を２か所切り、パーツを移動させてタイルパターンをつくる。 ・はめ絵の要領でパターンの形状を活かした絵柄を考え、透明シートに繰り返しトレースして敷き詰め、敷き詰める。	a:パーツの移動方法を理解し敷き詰め可能なカタチが作り出せる。 b:タイルパターンの形を活かした絵が描けている。多彩に配色している。 c:複数のアイデアスケッチの中から最善のものを選んでいる。	ﾜｰｸｼｰﾄ 制作の様子 制作途中の作品 提出作品	ﾜｰｸｼｰﾄ 制作の様子 制作途中の作品 提出作品	ﾜｰｸｼｰﾄ 制作の様子 制作途中の作品 提出作品
2	鋳造で作るアクセサリー	【立体】 ・鋳造の制作工程を理解し、ペンダント、リングのデザインを考える。 ・粘土で原型をつくる。 ・シリコンゴムで型取りし金属を溶かして流し込む。 ・研磨作業	a:各工程の作業を理解し適切に進めることができている。 b:ベースのデザイン、模様のデザインに自分なりの工夫がある。 c:複数のアイデアの中から最善のものを作り出そうとしている。 c:研磨作業を丁寧に行っている。	ﾜｰｸｼｰﾄ 制作の様子 制作途中の作品 提出作品	ﾜｰｸｼｰﾄ 制作の様子 制作途中の作品 提出作品	ﾜｰｸｼｰﾄ 制作の様子 制作途中の作品 提出作品
	表現トレーニング　自画像トレ	【絵画】【メディア表現】 Chromebook のカメラで自分の顔を撮影し、白黒画像に加工し、描画ソフトのレイヤー機能を使用しながら、自分の顔をトレースして描く。	a:作業内容を理解しカメラ、レイヤー機能を使って絵が描ける b:描き方や色使いを工夫したポイントがある。 c:アングルや、画面構成などを考えながら写真を選んでいる。	画像 制作の様子 制作途中の作品 提出作品	画像 制作の様子 制作途中の作品 提出作品	画像 制作の様子 制作途中の作品 提出作品
3	「物語のある不思議な風景」	【ステンシル版画】 インターネットの画像や様々な画像素材を使いながら、物語性のある一場面をステンシル(切り抜き)版画で表現する。	a:説明を理解し適切に、切り抜き、彩色作業ができている。 b:不思議な風景をコラージュで作る。 c:物語の設定、主人公を想定して考える。 c:複数スケッチを描きながら考えている。	ﾜｰｸｼｰﾄ 制作の様子 制作途中の作品 提出作品	ﾜｰｸｼｰﾄ 制作の様子 制作途中の作品 提出作品	ﾜｰｸｼｰﾄ 制作の様子 制作途中の作品 提出作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度